

巻頭言



支部長 新屋 保 則

みなさん こんにちは！

今年の桜前線は一週間ほど早く北上しているようです。この「絆」が皆さんのお手元に届く頃にはどこで開花しているのでしょうか。

長年農業に携わった人間としては異常気象といわれるこのような天候の変化には経験が打ち砕かれそうになります。そしてこれからの農業に影響するのかを心配する一人です。

コロナ禍のこの三年間、新型コロナウイルス感染症に世の中振り回されて、支部定期総会が書面開催になったり、絆サロンも会場の閉館で中止になったりで何らかの形で多くの影響を受けました。

3月13日、やっとマスクの着用が個人判断となり、5月8日からは感染区分が2類相当から5類に変更なり、生活環境がほぼ平常に戻りつつありますが、常に変異した新型ウィルスの発生に注意を払わなければならないのが現状と思います。

3月8日、中医協総会は14成分24品目の薬価収載を了承し、3月15日、経口投与の筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療薬・ラジカット内用懸濁液などが収載されましたので、患者にとって薬に薬の投与を受けられますので一刻も早く多くの患者に提供していただくことを願ってやみません。

前号の「絆」でもご案内していましたが、4年振りに北海道支部総会を6月4日(日)北海道難病センターで、対面で開催致します。

(本誌中面に第22回北海道支部総会議案書があります。)

私は2022年度末の任期満了で退任いたします。

後任の支部長に日本ALS協会理事であります「山田洋平さん」を推薦したいと思います。三十代でALSを告知されましたが、持ち前の前向きな性格で病気を克服することを信条としています。そして聡明で行動力のある奥様

の力強いサポートで重度訪問介護事業所を経営されており、療養のアドバイザーとしても多くの患者さんやご家族さんの悩みなどの相談を受けており、新支部長として相応しいと思っています。

コロナ禍においてこの間満足な支部活動も出来ず会員の皆様にはご迷惑をお掛けし大変申し訳なく思っています。

何分、高齢の身ですので事情ご推察いただきたく、よろしく願いいたします。

ご案内の総会式次第のとおり医療講演は札幌市立大学看護学部 助教授 高橋先生による「ALS 療養者・家族の日常を支えるケア ～過去・現在・未来～」です。療養上のヒントがあると思いますので、会員の皆様には是非ご参加くださるようお願いいたします。

最後に前支部長の故杉浦忍さんから支部長職を引き継いでから 3 年間、短い期間でしたが会員の皆様のご支援ご協力で職務を全うすることが出来ました。ここに厚く御礼申し上げます。今後は一会員として北海道支部を応援して参りたいと思います。

では、総会の会場でお会いしましょう。

本当にありがとうございました。